

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	JIN KIDS sakruai (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 6 (回収率100%)
○従業者評価実施期間	2026年 1月 7日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児童の個別特性に応じた安全管理や引き継ぎ時の丁寧な情報交換	・連絡ノートや振り返りシートの記載と社内SNSの活用によりスタッフに情報共有を行なっている ・内容により対応するスタッフを事前に決めたり、確認項目について事前確認を行なっている ・送迎時の丁寧な引き継ぎ、出発前の情報交換	・事故などが発生した際の対応フローチャートや通所支援事業部統一した対応ルールを検討し、職員・保護者へ周知 ・昼礼・振り返りに保護者への確認相談項目について確認 ・受け入れ時の役割分担や業務の標準化を行い、スムーズな引き継ぎや情報伝達ができるようにする ・アレルギー対応等医療機関との連携方法を検討
2	・多様なテーマや方法で職員研修を実施している	・多職種がMTで検討した強みを活かした研修を個人・部門で立案し取り組んでいる ・通所部門全体で研修を実施し、人材交流が図れている ・児童発達支援センターや県主催の研修会などの情報を社内SNSで共有し、参加しやすい状況を整えている ・勤務時間や形態が異なる職員が受講しやすい多様な研修方法	・はぐくも等の活用、法定研修以外のテーマの充実 ・部門ごとの研修の頻度、内容が職員負担となっている部分もあるため調整を検討する ・研修以外での人材育成方法やマニュアルを初めとした業務の標準化を図る ・非常勤職員が参加しやすい研修方法の検討
3	・固定化しない多様な活動プログラムの提供	・非重心部門の土曜日個別支援など、集団・個別療育を可能な方法で提供できている ・プログラムが固定化しないよう、グループ制やペア制で活動素案を立てた後多職種によるMTを経て、ブラッシュアップできている ・過去の計画をファイリングし参照しやすい状況	・個別の課題やワーク、遊びを決めておくなどして、空き時間を有効に活用できる体制を整える(個別支援) ・素案の立案チームの見直しや繰り返し取り組むことが好ましい活動の取り入れ方・頻度の検討 ・個別→集団療育へ取り組みや配慮点の情報共有方法を検討する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・受け入れ環境と時間帯による職員体制	・支援時間内で人員の配置人数に差異がある ・トイレやおむつ交換台等、エレベーターなどの環境制約に加え、職員により担当できる業務や介助にばらつきがあることで、順番を待ったり待機時間が生じている ・複数職員で重複した非効率な動きを取っている場面がある	・職員採用、勤務時間や条件に応じた給与体系の検討 ・介助スキルや負担軽減のための勉強会を実施し、人材育成を進める ・業務分担や受け入れ時の役割分担を見直し、効率的に支援が行えるよう検討する
2	・保護者や兄弟児の交流会やつながりの支援	・通常業務と企画担当などの両立が難しく、本人支援が中心になっており、保護者・家庭支援についても個別の対応となっている ・保護者によりニーズの有無や必要としている情報等が異なっている状況	・医療的ケア児の進学・就活に関して保護者も巻き込む形での勉強会を実施できた。障害像の異なる児に関する支援として一般化しつつ個性を残した実施方法の検討が必要 ・企画担当を係とするなど責任者を置いて取り組む ・家族単位で参加できるイベントから保護者支援、兄弟児支援の分化を検討する
3	・個別支援計画と療育活動計画の立案の一体的な運用	・支援計画立案は児発管中心に行っており、現場で主に支援を行う職員と十分な意見交換や事例検討に十分な時間確保ができていない ・日々の振り返りや利用児個々の変化を支援計画に反映する、計画を年間計画に沿った全体活動計画へ反映し、個々の配慮点を踏まえて介入する流れが作れていない	・短時間の事例検討会を定期的に開催するよう、年間スケジュールを調整する ・モニタリング時に振り返り資料や現場職員へのヒアリングを行い、計画の修正時に反映する取り組みを行う ・事例検討方法や事前の入力フォームの運用を検討する

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	JIN KIDS sakurai (放課後等デイサービス)				公表日	2026年3月25日		25名
				利用児童数	32名		回収数 (回収率: 74.3%)	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	2	0	1	・とても忙しいようにしていると思う時がある ・日による差異もありますが、夕方の時間帯が手薄になるため、夕方に勤務可能な職員の採用を積極的に進めて参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	2		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1	0	1	・色々な職種の方が関わってくれているので安心感が大きい ・多職種での療育内容の検討や支援など強みを活かした療育の継続、平日の集団療育と非重心部門の土曜日の個別支援(外出、調理、身辺動作練習など)などを組み合わせつつ支援の充実を図ってまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1	0	2		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	22	2	1	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	3	1	0	ガイドラインの内容を知らないが、おそらく適切になされているのだと思う 支援プログラムの掲示の他、ガイドラインの掲示等を検討したいと思います。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	2	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	0	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	6	4	12	なくともいいと思う ・次年度も機会を確保し、ご希望に応じて参加を相談させていただきたいと思ます。	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	2	1	4		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	7	5	6	本年度はニーズに応じて医療的ケア児の進路・就職について考える保護者勉強会を不定期で実施して参りました。個々のニーズに応えながら全体に広げられるプログラムについても検討してまいります。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	1	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	4	5	2	・保護者面談やニーズに応じた勉強会等を実施して参りたいと思ます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	0	0	1		
	18-1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか	5	6	7	7	1年1回の交流や情報交換がなし ・次年度は本人、保護者、兄弟児が参加できる以前と検討しております。詳細が決まりましたらお知らせさせていただきます。	
	18-2	父母の会や保護者会があれば参加を希望するか 希望があればどのような企画を希望するか	12	8	2	3	・重心の保護者と話がしたいです ・一緒に遊びをする(チーム戦的な) ・パパの会	
	18-3	きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか	0	6	7	12		
18-4	きょうだい向けのイベントがあれば参加を希望するか きょうだい向けのイベントを行う場合、どのような企画を希望するか	6	7	3	5	・子供同士で話をしてほしい ・私は参加させたいが本人の希望による ・兄弟児どうしが仲良くなれる企画		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	0	1	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	0	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	5	・そういう場面に出会っていないのでわからない	・お怪我や物損等が生じた場合は速やかにご家庭（該当する事業はありませんが、所管する自治体）への連絡を実施しています。また、現在通所支援事業全体でのルールの統一やしおりの作成を進めております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	0	0	1	・とても楽しみにしています	・楽しくお友達、スタッフと多様な経験ができるよう、活動やプログラムの更なる充実につとめていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1	0	1	・子供が利用日を楽しみにしています。いつもありがとうございます	・お子様、ご家族のご要望に応えた支援が行えるよう、引き続き努めていきたいと思っています。
自由記載	30	お子様ご本人から事業所で取り組みたい活動やコメントなどがありましたら教えてください	・事業所の子達とお出かけできる機械がもう少しふえたらいいなと思います					・外出や社会経験の保障機会が十分確保できておらず申し訳ございません。お子さん1人1人の体調に留意しつつ、長期休暇や祝祭日、気候が良い時期の外出、卒業時の卒業おでかけや土曜個別支援での自立に向けた外出支援等は引き続き実施して参ります。その他本年度は、福祉センターでのポッチャ大会、カフェイベントへの参加等を実施できたため、地域の他団体や社会資源の活動を引き続き検討してまいります。
	31	保護者さまから事業所のご利用全般に関するご意見・ご要望などありましたら教えてください	・毎週季節の遊びや製作をありがとうございます ・お弁当箱洗っていただけたり、汚れた服の洗濯などいつもありがとうございます。スタッフの方の無理の無い程度で大丈夫です!! ・いつも色々対応してくださり、とても助かっています。ありがとうございます ・送迎の際に子どもの様子（その日の）を伝えてくれてありがとうございます。以前のように懇談?のような形で、子どもの様子や支援の様子、仕方、家庭での共通理解など話ができる場を設けてほしい ・モニタリングや面談をやっていないが計画はどのように立てているのか知りたいです ・放課後デイサービスの計画書を最近いただいている気がします ・JINさんは安心して預けることができる施設です！子にも親にも丁寧に接してくださり、ありがとうございます☆					・引き続きお子様が楽しみながら、多様な経験をしていただけるよう、スタッフ一丸となって活動の計画を進めてまいります。 ・感染対策の観点から洗濯等の実施については、現在対応の検討を行なっておりますがご家庭で余裕を思ってお子様と関わっていただけるよう可能な支援については引き続き実施してまいります。 ・障害児利用計画やフェイスシート、聞き取り等に基づき、ニーズの把握をさせていただいておりますが、次年度は5月に個別面談を実施させていただく予定です。改めて日程調整のご案内をさせていただきますので、ご協力をお願い致します。 ・引き続き安全にご利用いただける環境を整えつつ、支援の充実を図って参りたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 JIN KIDS sakurai (放課後等デイサービス)

公表日 2026/3/25

	チェック項目	はい	どちらとも もえな	いいえ	工夫している点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児の配置などは配慮している</li> <li>・使用しない座位保持椅子や乗っていない時のバギーがあると、狭く感じる</li> <li>・児童側の利便の位置</li> <li>・利用が15人の場合、スペースが狭く移動時、お子さんにぶつからないように特に注意が必要</li> <li>・使用しない不要な物の片付けをし、安全なスペース確保に努めている。座位保持椅子の必要台数によっては、危険があったり狭さを感じたりする時もある為、置き場の工夫が必要</li> <li>・その日の利用人数により、どの辺りのスペースで過ごすか活動なども含め、検討しているところ。動き回る児童に対しては十分なスペースがない時がある</li> <li>・曜日によって利用児が多いと、動く児と動かない児の距離が近くなり危ないと思うことがある。限られたスペースで皆が安全に過ごすことができる配置を日々検討していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収納設備の充実と収納方法等の検討</li> <li>・不要備品の処分も検討 などにより、療育スペースの確保と安全な環境を整えと共に、KYTの実施などでスタッフの危険への気づきと安全意識を高める</li> </ul>
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児の人数、重症度によっては職員の人数が不足していると感じる時もあるため改善が必要と思うことがある</li> <li>・1日利用時は、充実しているが、夕方は不足していると感じる</li> <li>・日によって出勤人数や16時30分以降職員いない場合がありお子さんを見守りに注意が必要</li> <li>・介助が多い日、そうでない日の差があるので、配置人数だけでは適切かどうかは答えにくい</li> <li>・利用児に対して職員の人数が多い時は事務時間など設けるなどしている。少ない時は、全体を見守る人がいたり、それぞれ役割など設けている。お互い声をかけ合うなどしている。ちょっとしたことで目が離れてしまうこともあるため、職員間の声かけが重要だと思う</li> <li>・曜日によって重心・非重心の割合で安全の担保に不安を感じる時がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕方の時間帯に勤務可能な職員の採用と珍軍隊系の見直しを実施していく。</li> <li>・リフトアップ時は2名介助の励行し労災防止に取り組む</li> <li>・役割の分担と共に介助方法等の職員教育の充実</li> <li>・集団、個別活動の設定</li> </ul>
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸器を使用している児がいるスペースがラインで分けられている点については工夫されていると思う</li> <li>・事業所が2階にあるため移動がエレベーターを利用しなければならない場合あり</li> <li>・真ん中に事務所があるため、情報伝達はしやすい</li> <li>・使わないものはなるべく出さないようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MTや昼礼での活動共有や環境整備に継続して取り組む</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除は丁寧にしている。フロアは広く活動しやすい</li> <li>・清潔である空間であるように心がけ、毎日の掃除を意識して行っている</li> <li>・掃除や不必要なものなど置かないようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備や清掃への継続した取り組み</li> </ul>
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐに使用できる個室を確保できるようにしたい</li> <li>・個室を必要とする児が複数いた場合には対応が難しいこともあると思う</li> <li>・静養室と言われる場所に事業所の物品が沢山置いてある。改善できないか</li> <li>・別室に移動もできるが、同室中でも、カーテンで仕切れたり、両側に壁がある個別ブースを使用したりして環境設定をしている</li> <li>・部屋が空いていれば別室対応などできるかもしれないが、職員の人数や利用児の人数によっては、人手が足りない事があったり、目が行き届かない状況だと難しいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の活動・学習ができるよう、環境を整える</li> <li>・感染対策のための別室隔離、同室隔離方法を検討する</li> </ul>
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルが必要</li> <li>・多くの職員が参加できるように、昼礼の時間に業務改善の話を発信するようにしている</li> <li>・振り返りなど毎日行っている。十分に話す時間が設けられない事がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルかすべき項目の洗い出し、既存マニュアルの見直し、新入職者への新人教育プログラムの作成</li> </ul>
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会を開催している</li> <li>・定期的に行っている。保護者から相談したいことがある場合など、ゆっくり話しを聞く機会があまりないと思われる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に保護者面談を実施予定</li> </ul>
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼や昼礼の他にslack等で意見も伝える事ができるようになっている</li> <li>・何かあればその都度話し合っている。時間がないなどで十分に話す機会がない場合もある場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MT方法と事例検討方法の見直し</li> </ul>
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	11	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価を受けているか分からない</li> <li>・事業所が第三者による評価を受けているかどうか把握していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価自体の課題や費用負担もあり、現在未実施。代替えとしてセンターのスーパーバイズの活用なども検討する</li> </ul>
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の計画で研修の機会を設けてもらっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画視聴やMT日に合わせて研修を実施するなど参加方法について検討する</li> </ul>
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成されているが、ゆっくり見る機会があまりないので、見るようにした方がよいと思った</li> <li>・個別支援計画の内容について共有した方が支援の方向性の統一ができると思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度公表したプログラムについて、定期MT時に周知・見直しを行う</li> </ul>
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	4	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管が作成した素案について担当制で検討した上で、チームで事例検討を行うなど、作成・見直しのプロセスを見直し、実践する</li> </ul>
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての職員がアセスメントや計画を作成しているわけではないため、全員が共通理解をしているとはいえないと思う</li> <li>・共有する必要があると思う</li> </ul>	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	8	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースの検討会などがひらかれているわけではないので、職員全員がサービス計画を把握しているかどうかはわからない</li> <li>・常勤とパートスタッフに情報共有が足りないときがある</li> <li>・しっかり理解できていないこともあるため、情報共有は大切だと思う</li> </ul>	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	12	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の行動観察はよく行われていると思うが、標準化されたツールを使う機会はほとんどない</li> <li>・保育士、セラピスト、看護師、療育スタッフと意見交換が実施されている</li> <li>・日々の様子や行動などの観察がいろいろと参考になってくると思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北大安達先生提供の評価スケールについて試験的な導入を検討する。</li> </ul>
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	8	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北大安達先生提供の評価スケールについて試験的な導入を検討する</li> </ul>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な職種が混ざったチーム編成になっている</li> <li>・小チームで計画した活動プログラムを、チーム全体に共有しさらに深めている</li> <li>・チーム内で案を出し、検討している。活動ミーティングなどで皆さんと共有し、意見を出し合っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動立案の負担を軽減し、個々の児の変化や支援に注力できる方法について療育スタッフと共に検討する必要がある</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の活動を踏まえて計画している</li> <li>・様々な活動プログラムを立て、固定化しないよう工夫している</li> <li>・静の活動、動の活動など順番に行ったり、活動があまり被らないように出し合っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動立案の負担を軽減し、個々の児の変化や支援に注力できる方法について療育スタッフと共に検討する必要がある</li> </ul>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちに合わせて、皆さんが活動に参加できるように難易度など調整している</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日に関わる職員が大体揃う昼食にて、打ち合わせをしている</li> <li>・活動内容の確認をし、役割分担も分かりやすくホワイトボードなどに掲示している</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りなどで上がったことや活動を行ってみて気づいたことなど、その都度話し合っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育記録の記載方法や分担、個別支援計画と照らして振り返ることができる体制を検討することが必要</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カルテに記録を残したり、次回気をつけることなど昼食などで伝えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育記録の記載方法や分担、個別支援計画と照らして振り返ることができる体制を検討することが必要</li> </ul>
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に見直すことは必要だと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援プログラムと個別支援計画を対比しつつ、日々の支援に反映できる方法を検討する必要あり</li> </ul>
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	12	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもが主体的に参画できる活動については、出来ていない。夏休みなどに活動の立案をするのを、個別に取り組んでもよいかもしれない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団支援、個別支援の実施方法について検討していく</li> </ul>
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動でお子さんが決定できるように提供している。例、色遊びなど</li> <li>・自分で決めにくいお子さんに対しては二択で聞いたり、反応を見たりして決めたりしている</li> </ul>		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	2	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での様子など申し送りを聞いてきたりしている。下校時刻などは保護者から聞くこともある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の自治体、県立支援学校からは保護者経由で情報確認するよう指示あり。授業の見学や情報交換方法については引き続き検討</li> </ul>
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議の開催を積極的に相談支援専門員に働きかけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した担当者会議等で得られた情報の共有方法と見える化を図り、スタッフが情報を得やすい環境づくりが必要</li> </ul>
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	6	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定型・非定型サマリーの作成を標準化できるように、書式的検討を行う</li> </ul>
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携をはかっていることは知っているが、どの程度の連携をしているのかはわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状限られた職員が参加している状態のため、広く職員が参加できる体制づくりを行うなど、連絡方法について検討していく</li> </ul>
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	9	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で開催される行事に参加させていただいたが、交流できる機会は多くは取れていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度はカフェイベントやポッチャ大会に参加するなど、地域との交流機会の確保について検討できた。次年度も行事等で検討していく</li> </ul>
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	8	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会等に代表者が参加していることは知っているが、どれくらいの頻度で参加しているのかは分からない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状2ヶ月に1度のいけあGに参加している</li> </ul>
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	15	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳の他、送迎の際などに情報を共有するようにしている</li> <li>・気になることや何かあった時など、その都度聞いたり、伝えたりしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き実施していく</li> </ul>
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	10	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族から要望があれば必要に応じて情報提供をしていると思う</li> <li>・そういう機会があればいいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児の進学・就職に関する勉強会を本年度は新規で実施した、引き続き継続してテーマについても検討する</li> </ul>
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が丁寧にやっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の職員が契約時に説明等実施しているため、契約や保護者対応等の内容について職員間でも内容理解を図る</li> </ul>	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	4	0		・面談時に児発管だけでなく、現場職員も広く参画し、本人・家族の意向を計画に反映できる体制を整えていく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	2	0		・日々の引き渡し場面、定期・非定期の面談を実施すると共に、内容に応じて職員間での共有・意見集約を図っていく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	8	3	・交流会など保護者同士、情報共有や交換が出来る機会があってもいいと思う	・医療的ケア児の進学・就職に関する勉強会を本年度は新規で実施した、引き続き継続し他テーマについても検討する
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	2	0	・苦情を他の保護者や子どもに周知しているかどうか、わからない。迅速な対応にはつとめていとおも ・話しをしっかり聞き、苦情が出ないように対応していくことは必要だと思う	相談・申し入れがあった場合の対応の流れや、内容に応じた報告経路などについて共有理解を持てるよう、指針等について検討する
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14	2	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	1	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	3	1	・クリスマス会のサンタ役を地域の方をお願いしている ・敬老会へサンタクロースの役を依頼したり、隣の歯科に子どもたちにハロウィンのお菓子を渡してもらおう依頼するなどしている ・隣接している歯科さんにハロウィンのお菓子を貰いに行く交流をご協力いただいたり、クリスマスでは、地域の方にサンタクロースになって頂き、交流を図っている。他にも交流できる機会を増やしていきたい	・クリスマスやハロウィン等のイベント毎の交流、ポッチャ大会への参加など、これまでより交流機会は増やすことができた。本年度は新しく町内の避難訓練に参加。引き続き取り組み
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	6	1	・定期的にそういった訓練など行えるとよいと思う	・マニュアルやアクションカードの更新を行うと共に、定期訓練時の見直しにも継続して取り組む
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	6	0	・訓練不十分、災害が起きた時、適切に動ける自信はない ・避難訓練は不定期で行われている ・回数は少ないが行っている。定期的に行えると良いと思う	・BCPの更新を行うと共に、定期訓練と職員研修に取り組む
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13	2	1	・保護者から服薬状況や発作などの様子を伺っている	年度ごとのアセスメントシートの更新と合わせて、日々の服薬状況と発作状況の確認にも継続して取り組む
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	6	1	・特に医師から指示書ももらっている訳ではなく、保護者から伺っている。 必要な場合は指示書も必要だと思う ・事業所で医師指示書を見たことがない	年度ごとのアセスメントシートの更新と合わせて、重症度やアレルギーなどに応じて医師との連携に取り組む
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	5	1		定期訓練時の見直しと職員研修にも継続して取り組む
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	8	0		定期訓練のお知らせと報告等に継続して取り組む
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	0	・ヒヤリハットの集約をし、振り返る機会を設けている	継続して取り組む
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	0		継続して取り組む
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	2	0		継続して取り組む	
記載理由	55	事業所の運営に関する事項などの自由意見					